

令和2年生駒市教育委員会第11回定例会会議録

1 日 時 令和2年11月24日(火) 午前9時30分～午前10時32分

2 場 所 生駒市役所 401・402 会議室

3 審査事項

(1) 報告第27号 教職員人事異動方針について

(2) 議案第41号 令和2年生駒市議会第10回(12月)定例会提出議案の意見について

4 教育委員会出席者

教育長	中 田 好 昭		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委員	レイノルズあい	委 員	西 井 久 之
委員	伊 藤 智 子	委 員	古 島 尚 弥

5 教育委員会欠席者

委員	寺 田 詩 子	委 員	坪 井 美 佐
----	---------	-----	---------

6 事務局職員出席者

教育こども部長	奥 田 吉 伸	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	坂 谷 操	教育総務課長	山 本 英 樹
教育指導課長	前 田 伸 行	学校給食センター所長	財 満 直 也
こども課長	松 田 悟	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	松 本 裕 美	子育て総合支援センター所長	角 井 智 穂
生涯学習課長	清 水 紀 子	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	小 北 敦 志
教育指導課課長補佐	八 代 大 輔	こども課課長補佐	大 窪 奈 都 子
生涯学習課課長補佐	井 川 啓 一 郎	教育総務課(書記)	牧 井 望
教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実		

7 傍聴者 3名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

- ・市立中学校における新型コロナウイルス感染に係る対応について、奥田教育こども部長から説明

<参照：追加資料1>

(質疑) なし

- ・生駒市立幼稚園及び小・中学校のあり方に関する基本的な考え方に係る市民説明会の結果について、奥田教育こども部長から説明

(質疑) なし

- ・生駒市教育委員会表彰の内申について、山本教育総務課長から説明

(質疑)

中田教育長：今年度も推薦がなかったのであれば、募集方法や条件を再度検討する必要がある。

○日程第3 報告第27号 教職員人事異動方針について

- ・教職員人事異動方針について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p1>

(質疑)

飯島委員：人事異動の重点項目の4点について、目新しいものがあるというよりは、重点項目の根拠である人事異動方針が策定された平成27年の時点で、既に重視されていた事柄が中心となっていると感じた。次年度に向けても引き続き、女性管理職の積極的な登用や、若手職員の異動が、重点項目として意識されると思うが、それらの実現のため、平成27年以降、県や市がとってきた具体的な施策と、その効果について、お聞きしたい。

中田教育長：実績については、毎年4月に報告しているとおりでである。当市は特に、女性管理職の比率が高い。毎年、校長会にて人事異動方針を各校に周知しているが、現場が変わらないと女性管理職は手を上げにくいということ併せて伝えている。今年の管理職試験も女性教員が多く受験しており、女性も昇格試験を受ける風土はできつつあると思う。市としてできているのは、その意識付け程度であり、管理職手当を増やすなどの具体的な施策は、市の裁量ではできない。現状として、管理職が不足しており、また教員の働き方改革を進める中で、モチベーションを上げる何か

が必要になると思う。当市では、あり方検討委員会からの答申に基づき、「教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラム」を策定しており、実施期間が令和2年度で最終年度となっている。実施結果の検証をしていく必要がある。成果として挙げられるのは、校務支援システムの導入、スクール・サポート・スタッフの配置など、環境面では実現しつつあるが、時間外勤務の削減はまだ道半ばである。校務支援システムを導入して一年経ち、各校からの勤務時間報告に基づく、検証段階に入っている。市の取組としては以上となる。環境が良くなったらおのずと、先生方の質も上がる。奈良県は先生方が転任先の希望を出す形式になっており、生駒市は従来から人気が高い。施設の良さや、改革への積極性が先生方にも評価されているようだ。具体的な施策とまでは言えないが、先生方にとって働きやすい環境づくりに引き続き努めていきたい。

飯島委員：女性管理職の登用が長年にわたって重点項目となっているにも関わらず、なかなか進まないのは、重点項目として挙げて、社会的な条件が整わないことが原因ではないか。管理職になったはいいが、負担が大きすぎて困難な事例が少なからずあると思う。この重点項目を実現するのに支障があるような状況がないかなど、先生方の状況を見ていただきたい。

西井委員：飯島委員のご発言に加えてであるが、管理職になりたがらない理由として、管理職への処遇があまり良くないことがある。管理職手当が少ない上に、時間外勤務が多すぎるなど、見直す必要がある。他府県では金銭面について改善ができていところもあるが、奈良県はまだ改善に至っていない。給与はそこまで高くないのに、業務は山積している状況を考えると、見直す必要があると感じる。また、重点項目の1に、初任採用後4年以上勤務している者について、市町村を超えて配置するとある。生駒市の先生方は、その方針に沿って、初任から4年以上経てば全員他市町村に異動となるが、奈良市は地域が広いことを理由に奈良市内の異動で済まされている。他市町村は生駒市と同じで、異なる行政組織の学校を経験するために、市外に異動となっており、この点については、不公平感があるので、機会があれば、県にもお伝えいただきたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 議案第41号 令和2年生駒市議会第10回（12月）定例会提出議案の意見について

- ・ 令和2年度一般会計補正予算（第10回）について、松田こども課長、山本教育総務課長、清水生涯学習課長、西スポーツ振興課長、財満給食センター所長から説明。
- ・ 財産の取得の変更について、山本教育総務課長から説明。
- ・ 生涯学習施設指定管理者の変更について、清水生涯学習課長から説明

- ・生涯学習施設指定管理者の変更について、清水生涯学習課長から説明
＜参照：議案書 p 6、資料 1～3＞
(質疑)

飯島委員：予算について、新型コロナウイルス感染症の影響で幼稚園の給食費やバス運行代が減額となっている。議案書 13 ページの中ほど、児童保育費が減額となっている理由について、利用が少なかったためと説明があったが、これも新型コロナウイルス感染症によるものか。

松田課長：昨年度より就学前教育・保育の無償化が国の制度として始まった。そのことに伴い、予算計上をしたが、予算編成時は無償化前であり、無償化前は認可外保育施設に通所している人数は県が把握するものであったことから、市では正確な人数を把握できていなかった。従来、市には、認可外保育施設が適切に経営されているかチェックする機能はあったものの、市内の認可外保育園に通所している正確な人数、また市外の認可外保育施設に通所する人数が把握できない状態のまま予算計上した。もちろん、県に問い合わせるなど、可能な範囲で調べたが、年度が明けると実際と相違がある人数であった。

レィルズ委員：生涯学習施設の指定管理者の選定についてである。6施設の指定管理者候補は現在の指定管理者であるよしもと・南海共同事業体が引き続き選定された。おおむね問題ないと思うが、資料2の5ページの表において、1～4は配点に比べて過半数の得点となっているが、「5 収支計画」のみ得点が低くなっている。特に「(2) 経費の縮減について」は、150点満点中25点と、課題があるように見受けられる。具体的にはどのような内容のご提案があったのか、伺いたい。

清水課長：「経費縮減」の項目については、指定管理料の提案額が評価の対象となる。募集要項において、市から5年間の指定管理料の上限額を提示しており、上限額の範囲内で提案された金額をもとに、金額が上がるにつれ減点していく審査方法としている。今回、上限額にかなり近い提案額となっていたため、このような評価となっている。なお、上限額の設定にあたっては、過去5年間の実績等を参考に算定しており、現在の指定管理料より増額しているものの、前回の募集時と比較すると、増加率は下がっており、今後5年間の運営にあたって、事業者としてもかなり工夫して収支計画を作成していただいたものと考えている。

レィルズ委員：単に経費を減らせば良いというものではなく、最優先されるべきは市民へのサービスの還元なので、上限を超えない範囲で努力していただければと思う。2期目に入り、効率化できる部分も見つけていると思うので、引き続き5年間、管理運営をお願いしたい。

審議結果【原案のとおり可決】

○日程第9 その他

・令和2年12月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明
(質疑) なし

・令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果概要について、伊藤委員からご質問
(質疑)

伊藤委員：机上にあった「令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」についての結果概要」については、説明等ないか。

前田課長：先月速報版を報告させていただいたものであり、結果がとりまとまったため、報告書を机上に配布させていただいたものである。内容については、各委員で見えていただければと思う。

○閉会宣告

午前10時32分 閉会